

「国際」という仕事

国際ネットワークを
通じた情報共有・発信



アジア河川流域機関ネットワーク(NARBO)第6回総会(インドネシア)

海外機関への
職員派遣



灌漑施設の配水管理に関する研修状況(フィリピン)

受託業務を通じた
技術支援



地震防災訓練の様子(インド)

国際会議での
情報発信



第3回アジア・太平洋水サミット(ミャンマー)

研修受入による
技術協力



研修における講義の様子

水資源機構は、政府開発援助(ODA)機関である国際協力機構(JICA)等からの要請を受け、職員を水資源の開発や管理の専門家として各国に派遣しています。また、これまでに培った経験やノウハウを活用した様々な業務受託や国際会議への参加、国外からの研修生受入れを通して、世界各国の水資源開発や管理能力の向上、防災・減災に貢献しています。

国際の仕事



海外機関への職員派遣

専門家の活動の様子(カンボジア)

国際協力機関等を通じて、水資源機構から水に関する専門家を各国に派遣し、現地にて水資源管理等に関する技術協力を行っています。また、海外で洪水等の大きな災害が発生した場合は、日本政府から要請を受け、職員を国際緊急援助隊のメンバーとして派遣し、被災地の早期復興に貢献しています。



国際緊急援助隊の活動の様子(タイ)

受託業務を通じた技術支援



洪水予警報システム【コミュニティ防災演習】(ネパール)



地震防災訓練の様子(インド)

水資源機構が有する技術を活かし、国際機関等から業務を受託しています。例えば、ネパールでは洪水対応や水利用、水質保全に関する技術、関係者間の調整を図る能力を活用し、効果的な水資源開発・管理戦略の策定支援、洪水予警報システムなどの構築に取り組んでいます。また、インドでは、ダム管理、特にダムの地震時対応の経験を活かし、地震時の施設点検マニュアルを整備したうえで、地震防災訓練を実施しています。

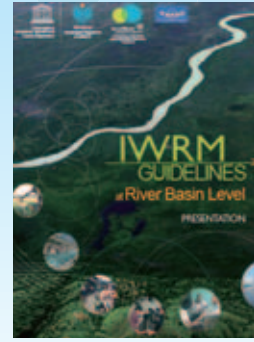
研修受入による技術協力



各国からの研修生に説明する水資源機構の職員



水資源機構が管理するダム・水路などの施設には、JICAや国際機関(世界銀行、アジア開発銀行)などを通じて、世界各国から水管理、施設管理、防災対応などについて学ぶべく、毎年300名程度の研修生の方々が訪れます。



国際ネットワークを通じた情報共有・発信

アジア河川流域機関ネットワーク(NARBO)をアジア開発銀行、アジア開発銀行研究所と2004年2月に設立し、各機関(19か国92機関)と協働し、トレーニングやワークショップ等、様々な活動を行い、水問題の解決のため情報共有、組織能力向上を促進しています。

また、河川流域管理能力向上のために参考となる事例を豊富に盛り込んだ「生きた指針」(リビングドキュメント)として水資源機構が主体となって作成し、第5回世界水フォーラムでユネスコが発表した「総合水資源管理ガイドライン」の普及や啓発に取り組んでいます。

わたしたちが世界で活躍しています!



川崎 忠成

平成8年入社
総合技術センター
国際グループ

水問題の改善を通じてよりよい社会を創る仕事

受託業務による現地調査のほか、NARBO行事の企画立案と運営、研修講師や国際会議での講演など幅広い仕事をしています。水資源機構を含む日本やアジアの水資源管理の知見や経験を広く世界に共有することで、水問題の改善を通じて持続可能な社会の実現のための国際的な動きに貢献できることが実感できます。国際業務を行う上でも信頼関係を築いていくことがとても重要ですが、国際業務を通じて知り合い、また、一緒に仕事をしてきた方との関係は、私にとってかけがえのない財産になっています。



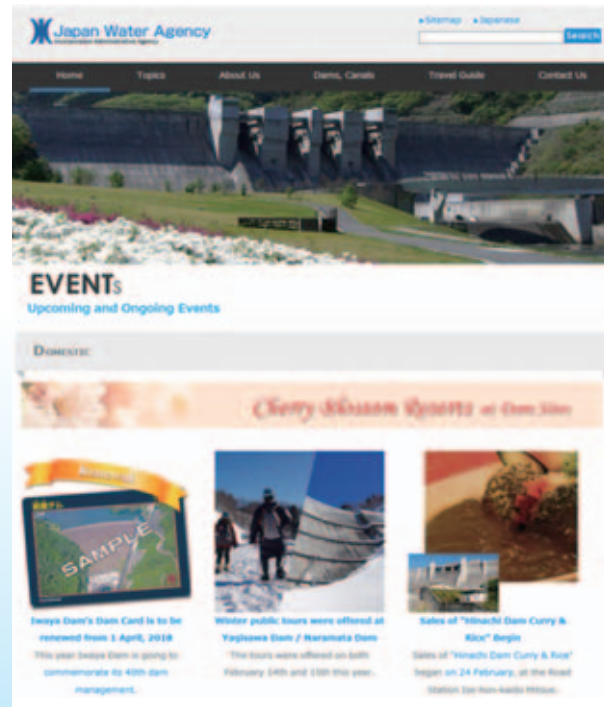
宇都宮 淳

平成16年入社
総合技術センター
国際グループ

国境を越えた、人や技術の縁を取り持つ仕事

これまで JICA 専門家として、フィリピン、カンボジアで水利用に係る技術協力プロジェクトに携わる機会をいただきました。現在の部署では、海外での研修企画、広報等の業務を担当しています。海外で仕事を行う際は、現地の文化や風習を理解してその地に溶け込み、現地の方々の信頼を得ることを心がけています。海外に行くと、水資源機構の現場での、地元の皆様のご協力を得ながら仕事を行う経験が大変役立っていることを実感します。

英語版ホームページ



海外の方々に向けた英語版ホームページで水資源機構業務・イベント・施設周辺の観光情報等を発信しています。
URL: <http://www.water.go.jp/en/>

海外から高い評価



2017年7月インドネシア国の公共事業・国民住宅省の大員が訪日された際、長年にわたる水資源機構の同国への技術支援に対する感謝状をいただきました。



水資源機構の技術を世界へ